

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和3年11月25日（木）

2 確認箇所

高性能多核種除去設備

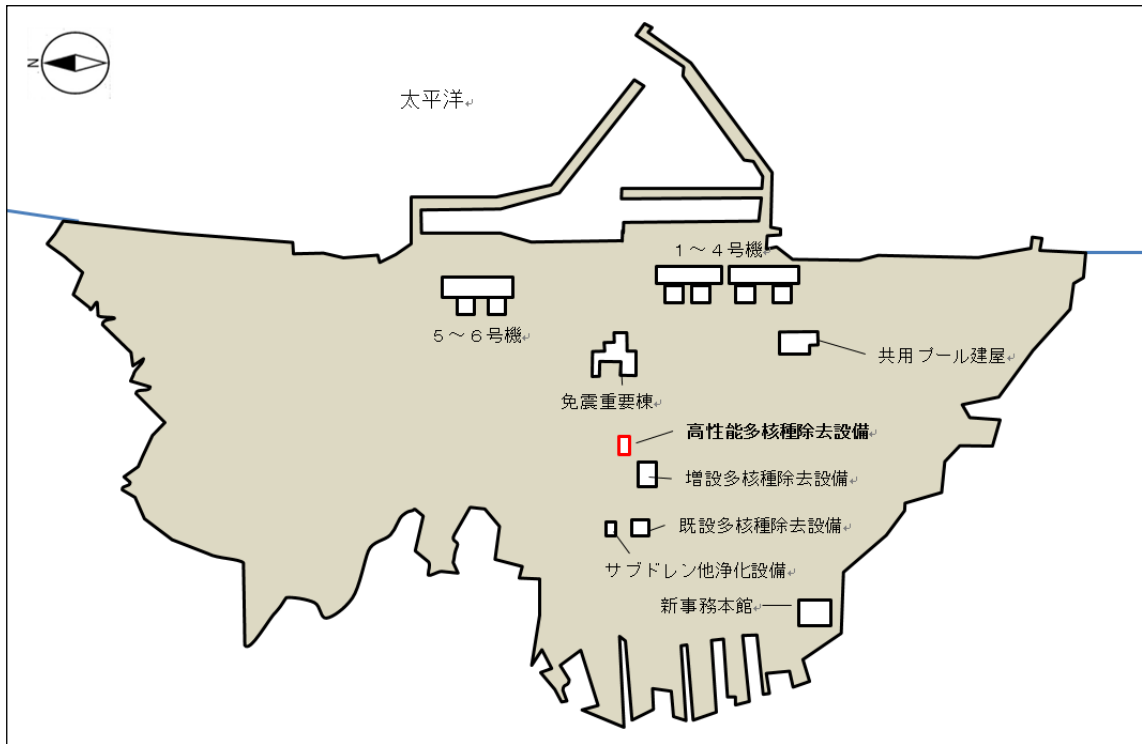
3 確認項目

高性能多核種除去設備の現況

4 確認結果の概要

多核種除去設備（以下「ALPS」という。）処理水の海洋放出について、県では国に対して浄化処理の確実な実施を求めている。こうした中、東京電力では、タンクに保管している処理水中のトリチウムを除く放射性物質について、安全に関する規制基準値を確実に下回るまで二次処理するため、敷地内に3設備あるALPS（既設ALPS、増設ALPS及び高性能ALPS）のうち、現在、運転可能な状態で待機中の高性能ALPSについて、最適な設備運用を検討するため適宜稼働させる計画があることから現況を確認した。（図1）（写真1）

- ・建屋中央には吸着塔が東西方向1列に設置されていた。南東側には4基のタンクが、北東側には前処理設備が設置されていた。（写真2）
- ・建屋内では機器の作動音が確認された。（写真3）
- ・確認した範囲で床面や吸着塔など各設備の表面に結露は確認されなかった。（写真4）
- ・東京電力では、11月9日及び10日に高性能ALPS系統内の水の循環運転を行っており、その結果、異常は確認されなかったとしている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
高性能ALPSの建屋外観
(北西側から撮影)



(写真2-1)
高性能ALPSの建屋内の状況
(入口付近から撮影)



(写真 2 - 2)
処理水タンク等の設置状況



(写真 2 - 3)
前処理設備の状況



(写真 3)
機器の状況
(コンプレッサは稼働中)



(写真 4)
床面及び吸着塔の状況
(結露は確認されない。)

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。